

西東京市子どもワークショップ企画案

1 開催概要

(1) 趣旨

次期西東京市子育て・子育てワイワイプラン（令和7年度から令和16年度まで）に掲載する取組に子どもの意見を反映するため、子ども自身が子ども施策について考え、意見を表明する機会としてワークショップを開催する。

(2) 開催時期・回数

令和6年6～7月（事前学習を6月中下旬、ワークショップは7月の夏休み期間中）

(3) 企画協力

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部高松宏弥ゼミ学生

2 テーマ

子ども会議（仮）を通じて子どもたちが西東京市の一員であることを自覚し、より良いまちづくりを自らしていくという意識の醸成を行う。

3 内容

- (1) 小学生から高校生までの子どもが、自らの生活や自治体の取組に積極的に関心を持ち、課題や問題点を洞察する機会を提供する。
- (2) 次期子育て・子育てワイワイプランの策定に向け、子どもの意見や提案を集約し、宣言（発表）の形式で参加者が西東京市に提案する。
- (3) 参加者が自らの意見やアイデアを発信し、市の取組に反映されることにより、社会の一員であることを認識できる機会とする。

4 対象者

ワークショップA：西東京市在住の小学生（4年生以上）20人

ワークショップB：西東京市在住の中学生15人、高校生世代（高校生と18歳までの子ども）10人

※A・Bにそれぞれ5人程度ファシリテーター兼議事録係として武蔵野大学フィールドスタディ発展履修学生（FS学生）+ 西東京市子どもの権利擁護委員、子どもの権利擁護相談・調査専門員などを配置

5 意見表明の方法

(1) 事前学習（6月中旬から7月上旬の土日に2時間程度で実施）〈ワークショップ Day1〉

- ・ワークショップ当日のグループ分けを行い、自己紹介等の関係構築を行う。（約30分）
- ・子育て・子育てワイワイプランや西東京市の取組を知るためのインプットを行い、当日の議論の活発化を図る。インプットでは、市職員などが「子どもの人権」「子どもにやさしいまち」「子育て・子育てワイワイプランについて」等のテーマや身近な話題を挙げて、市の取り組みに関する参加型の講座を行う。また、子どもたちにクイズやロールプレイ、ワークシートの記入やポストイットや模造紙を使った話し合い、話し合いの内容発表などで理解を深めてもらう。（約1～1.5時間程度）
- ・ワークショップBでは、当日のテーマも決定する。
- ・ワークショップA参加者（+FS学生）とワークショップB参加者（+FS学生）と同日同時間開催するかは今後検討。

(2) ワークショップ（7月下旬の土日に2時間程度で開催）〈ワークショップ Day2〉 場所：未定

① ワークショップA

テーマ「あなたの放課後や休日の居場所を教えてください」

（*子どもの居場所についてとするか、テーマは要検討）

- ・小学生5人×4グループでワークショップを行う。
- ・各グループに、FS学生をファシリテーター兼議事録担当として配置する。

② ワークショップB

「子育て・子育てワイワイプランに意見をください」

テーマ（事前学習の際に、グループで3つの中からテーマを選ぶ）

- ・子どもが、子どもの権利を実現するために必要な支援
- ・子どもが発想を活かし、自ら意見を表明する場や参加・参画する機会
- ・自分らしく過ごすことができる居場所や年齢に応じた居場所の確保に必要な施策や課題
- ・中学生3人・高校生2人×5グループでワークショップを行う。
- ・各グループに、FS学生をファシリテーター兼議事録担当として配置する。

ワークショップA・Bの4ステップ（2時間程度 休憩含む）

ステップ1 「こんな事あったな」（30分）	事前学習を通じて意識して生活をし、気づいた出来事を話す。 （*この部分は事前学習で行う可能性あり）
ステップ2 「こうだったらいいな」（20分）	“こんな事あったな”で出した内容を理想化して言語化する。
ステップ3 「どうすれば」（30分）	“こうだったらいいな”をどのようにすれば実現できるかを議論する。

ステップ4 「こうしてほしい」(25分)	“どうすれば”の中で出てきたことを意見化して、宣言として各グループで一枚のポスター(フォーマット)にまとめる
--------------------------------	--

(3)宣言(ワークショップA、Bの発表、1時間30分程度)〈ワークショップDay3〉場所：未定

- ・ワークショップA・Bの参加者(保護者の観覧可)、市職員、F S学生の約80人(想定)が参加する。
- ・合計9グループから各5分程度で発表する。(発表45分・入替等 合計1時間)
- ・発表の後、市から宣言の受理を表す参加証明書を渡すセレモニーなどを行う。(30分)

6 当日までの準備

- ・ワークショップA、Bの詳細な内容検討(子育て支援課、西東京市子ども子育て審議会計画専門部会+武蔵野大学学生)
- ・参加者募集ちらし、応募フォームの作成(武蔵野大学学生)
- ・ワークショップを円滑かつ最終的なアウトプットへ誘導する日の参加者向けワークシート作成(武蔵野大学学生)
- ・宣言ポスターのフォーマット作成(武蔵野大学学生)
- ・会場(市役所、武蔵野大学など)、スケジュールの選定(西東京市職員)
- ・大学を会場にした子ども向け企画など参加のモチベーションを上げるような企画(武蔵野大学学生中心に)

7 スケジュール

時期	内容
2月6日	子ども子育て審議会で報告(ワークショップの内容)
4月中旬	計画専門部会で審議(企画詳細、募集案内・告知ちらし)
5月下旬～6月上旬	参加者募集
6月中旬～7月上旬	事前学習(Day1)実施
7月下旬	ワークショップ(Day2)開催
7月下旬～8月上旬	宣言/発表(Day3)開催